



所在地：近江八幡市慈恩寺町元
(公益財団法人近江兄弟社)

～ ウィリアム・メレル・ヴォーリズの精神 ～

企業活動

- 株式会社近江兄弟社
(医薬品 スキンケア製品等製造販売)
- 近江オドエアサービス株式会社
(消臭剤 嗅覚測定用器材の製造販売、
環境計量証明事業)
- 株式会社一粒社ヴォーリス
建築事務所
(建築設計・監理)

文化伝道奉仕活動

- 公益財団法人近江兄弟社
本部事務局
<伝道・厚生・出版事業>
・湖声社(湖畔の声 他)
・恒春園(近江兄弟社霊園)
・ヴォーリス記念館 他

教育活動

- 学校法人ヴォーリス学園
高等学校・中学校・小学校
こども園・保育園
学童保育所

医療保健 福祉活動

- 公益財団法人近江兄弟社
・ヴォーリス記念病院
・ヴォーリス老健センター
・訪問看護・訪問介護
・居宅介護支援事業所・看多機
- 社会福祉法人近江兄弟社地塩会
ケアハウス信愛館
(軽費老人ホーム)



商売を行うのは社会のためとしたヴォーリズの精神は、時に「三方よし」の理念になぞらえられ、ヴォーリズは親しみと尊敬の念を込めて「青い目の近江商人」と称されました。

持続的な社会奉仕を実現する事業活動

近江八幡市名誉市民第1号であるウィリアム・メレル・ヴォーリズは、1905年に英語教師として近江八幡^{ふにん}に赴任しました。後に、建築、医療、製薬、教育など様々な分野で事業を興しますが、いずれも社会的課題の解決を目的としたものでした。

ヴォーリズは、「キリスト教の隣人愛に基づき、事業を通じて社会に奉仕する」ことを理念に、すべての人が平等で豊かな社会の実現を目指して、生涯を社会事業のために捧げました。

近江兄弟社グループは、ヴォーリズが近江の地に夢見た想いを^{いしづえ}礎に、新たな社会的課題の解決を目指した環境、介護、福祉などの事業を加えながら、100年を超えて続く企業体となっています。

また事業活動による社会奉仕に留まらず、グループの各企業が専門性を活かした公開セミナーの開催やボランティア、チャリティーなど多彩な活動を行っています。

株式会社近江兄弟社の「ニコニコ運動」もその一つ。何かうれしいことがあるとニコニコ箱^{けんきん}に献金を行い『うれしいことや楽しいことの‘おすそわけ’』を呼び掛けています。地域の方々と連携したチャリティーバザーも開催しており、集まった多くの善意は、経済的に^{こんきゆう}困窮する子どもたちや福祉施設、被災地域へ届けられます。近年では、紛争や貧困で満足に教育を受けることのできない子どもたちのため、ラオスとタイに小学校の建設を行っています。

商売と社会奉仕は相反するものではない。ヴォーリズの精神は今なお近江兄弟社グループに受け継がれ、社会奉仕のための事業が続けられています。

